

「皆さんは、ローターアクトをご存じですか？」と質問した場合、恐らくロータリアンのうち半分以上の方は知らないと答えるのではないのでしょうか。一般の市民においては、言わずもがなです。何故、そのようになったのでしょうか。その原因は、時代の変化は勿論ですが、多くのロータリアンの無関心にあるのではないのでしょうか。まさに時代は、ローターアクトしかなかった時代から、様々な奉仕団体が巷にあふれるように変化してきました。これからもRACが存在し続けるためには、社会からの要請とRCにとって必要な団体でいつづけなければなりません。ただ単に、奉仕活動をする団体は山ほどあります。

これからも「RCにとってRACは必要なのか」。その答えは、RIの青少年事業への考え方の変化にあります。すなわち、今までロータリーの4大奉仕部門の考えに、インターアクト・青少年活動・青少年交換・ローターアクト委員会を、五つ目の奉仕部門に格上げし、新世代奉仕部門を新たに設けた点です。一般社会において、子供たちは社会の宝です。20年後の日本の社会は、間違いなく彼らの手に委ねられています。

RCも同様で、現在の若者たちが20年後、RCの一員になり、様々なRCで活躍しているはずですが。

ここに、大阪ネクストRCというRCがあります。これは、RAC出身のメンバーだけで作られたRCです。今から20年前、我々の先人たちが未来のRCを考え育成

した若者たちが、一般社会で鍛えられ大きく成長し、RCに戻ってきたのです。皆さんのクラブにもたくさんのRAC出身のメンバーがおられるはずです。教育の荒廃が叫ばれる昨今、教育は国家の大計を図る上で、とても重要であることは周知のとおりです。RCにとっても、次世代を担う若者の育成は、なくてはならない重要な責務です。そのことをRIも考え、新世代部門を新設されたのだと思います。

先日、RACを持たない大阪フレンドRCの例会にて、大阪御堂筋RACの岩下君に卓話をさせていただきました。30歳前の若者が、多くのロータリアンの前で堂々とスピーチする姿を見て、大阪フレンドRCのメンバーは感激し、子弟や自社の従業員4人を、大阪御堂筋RACに推薦させていただきました。

またインターアクト年次大会にて、ローターアクト委員会の活動について猪辺地区代表がスピーチしたところ、4人の高校生が卒業後、RACに入会されることになりました。RACの会員増強は、必ず未来のRCの会員増強に繋がっていきます。そう考えるなら、RACのことに無関心でいられるはずがありません。私たち地区ローターアクト委員会は、皆様の要請があれば何時でも、卓話に寄せていただきます。

未来のRCを案ずる皆様が、今まで以上にご支援ご協力をいただくことを心より祈念しまして、世界ローターアクト週間にむけた挨拶にさせていただきます。



RACクリーンハイク